

議会報告会

と き 平成20年7月29日(水)

午後7時00分

ところ 栗生沢生活改善センター

1. 開会あいさつ 行政区の代表者
議員の代表者
2. 出席議員紹介
3. 開催趣旨説明
4. 議会報告
5. 質疑応答
6. 意見・提言等
7. 閉会あいさつ 議員の代表者

栗生沢区 ・ 南会津町議会

本日の出席議員 A班

	議員氏名	出身地	所属委員会	各種委員等
1	渡部 俊夫	田島：田島字中町	総務委員会 議会広報委員会	田島下郷町衛生組合議会 都市計画審議会
2	馬場 信作	伊南：青柳字居平	総務委員会 議会広報委員会	広域市町村圏組合議会
3	渡部 優	田島：糸沢字今泉平	文教厚生委員会	広域市町村圏組合議会 田島下郷町衛生組合議会
4	星 登志一	田島：長野字楡林	産業建設委員会 議会運営委員会	
5	平野 昌盛	南郷：東字居平	文教厚生委員会	西部環境衛生組合議会
6	阿久津 梅夫	館岩：井桁	産業建設委員会	西部環境衛生組合議会
7	◎渡部 東	田島：糸沢字羽塩平	総務委員会 議会運営委員会	西部環境衛生組合議会

報告会の開催趣旨

「地方のことは地方で」という地方分権が進む今、より効率的な行財政運営が求められています。このような中、住民に信頼され民主的なまちづくりを実現するためには、行政と町民との連携がますます重要になってきます。また、これまで以上に地方自治体の自己決定、自己責任が強く求められています。

一方、我々地方議会の役割は、これまでの審議機能や監視機能の一層の充実に加えて、対案の提出も含めた政策形成機能の充実などが必要とされております。

さらに、本町においては平成18年3月の合併により、町の区域が広がる一方、議員の数は在任期間中の48人から22人となりました。

4地域の伝統や文化を大事にし、地域の特性を最大限活用した均衡ある発展と住民相互の融和を図り、「あなたがいてくれてありがとう」「本当に住んで良かった」といわれるまちづくりを目指すには、いかに町民の声を町政に反映していくか。その活動いかんによっては、議会の存在価値が問われることとなります。

本町議会では、議会や委員会活動の状況を、地区に出向いて町民に直接報告・説明し、町政に対する情報の提供に努め、さらに議会活動に対する批判や意見、町政に対する提言などを直接聞く機会とし、本町議会の機能を高め、活力ある発展に資する趣旨で開催する。

I. 議会の報告〔平成20年6月議会定例会〕

1. 一般行政報告 別紙のとおり

2. 主な審議議案

議案第46号 南会津町税条例の一部を改正する条例（施行日：公布の日）

地方税法の一部を改正する法律（平成20年法律第21号）が平成20年4月30日に交付されたことに伴い、本条例を改定する。

個人住民税における寄付金税制の抜本的な拡充

- 寄付金控除が大きく変わりました。
 - ・寄付金控除方式が所得控除から税控除に改められる。
 - ・寄付金控除の上限を引き上げるとともに、摘要下限額が引き下げられました。
- 地方公共団体に対する寄付金税制の見直し
 - ・「ふるさと」に対し貢献又は応援したいという納税者の思いを実現する観点から、地方公共団体に対する寄付金税制が見直されました。

住宅税制

- 省エネ改修を行った住宅に係る固定資産税の減額措置が創設されました。
- 長期優良住宅に係る特例措置が創設されました。
- 新築住宅に係る固定資産税の減額措置の適用期限が延長されました。

その他

- 公的年金受給者の納税の便宜や徴収の効率化を図る観点から、個人住民税に公的年金からの特別徴収制度が導入されることとなりました。

議案第48号 南会津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

（施行日：公布日）

後期高齢者医療制度の導入に伴い、国民健康保険事業の安定的な運営と国民健康保険税の適正な賦課を図るため、国民健康保険税の按分率（税率）について所要の改正をした。

按分率（税率）表…別紙のとおり

参照：南会津町後期高齢者医療に関する条例（施行日：平成20年4月1日）

平成20年4月1日より後期高齢者医療制度が施行されるにあたり、法令等に基づく事務のほか町が行う後期高齢者医療事務あるいは保険料等について規定するため、本条例を制定する。

議案第 50 号 南会津町介護保険条例の一部を改正する条例 (施行日: 公布日)
平成17年度の税制改正の影響により、収入が変わらないにもかかわらず、介護保険料が大幅に上昇することのないよう、平成18年度及び平成19年度において激変緩和措置が講ぜられたところですが、平成20年度も引続き激変緩和措置を講ずるため所要の改正をした。

議案第 52 号 平成20年度南会津町一般会補正予算 (第1号)

議案第 53 号 平成20年度南会津町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)

議案第 54 号 平成20年度南会津町老人保健特別会計補正予算 (第1号)

別紙 按分率（税率）表

（単位：％、ポイント、円）

	区分	田島区域			館岩区域			伊南区域			南郷区域		
		19年度	20年度	増減									
医療分	所得割率	7.28%	6.40%	-0.88	9.51%	6.40%	-3.11	9.21%	6.40%	-2.81	8.61%	6.40%	-2.21
	資産割率	12.25%	12.70%	0.45	14.86%	12.70%	-2.16	15.37%	12.70%	-2.67	15.34%	12.70%	-2.64
	均等割額	19,200円	19,000円	-200円	18,800円	19,000円	200円	19,500円	19,000円	-500円	21,200円	19,000円	-2,200円
	平等割額	18,600円	17,600円	-800円	18,800円	17,600円	-1,200円	20,000円	17,600円	-2,400円	22,000円	17,600円	-4,400円
後期支援 金分	所得割率		2.60%	2.60		2.60%	2.60		2.60%	2.60		2.60%	2.60
	均等割額		12,400円	12,400円									
介護分	所得割率	1.36%	1.70%	0.34	1.97%	1.70%	-0.27	1.50%	1.70%	0.20	1.53%	1.70%	0.17
	均等割額	10,400円	12,100円	2,000円	13,400円	12,100円	-1,300円	11,400円	12,100円	700円	12,200円	12,100円	-100円

※ 参 考

（単位：％、ポイント、円）

医療 保険分 + 後期 支援分	所得割率	7.28%	9.00%	1.72	9.51%	9.00%	-0.51	9.21%	9.00%	-0.21	8.61%	9.00%	0.39
	資産割率	12.25%	12.70%	0.45	14.86%	12.70%	-2.16	15.37%	12.70%	-2.67	15.34%	12.70%	-2.64
	均等割額	19,200円	31,400円	12,200円	18,800円	31,400円	12,600円	19,500円	31,400円	11,900円	21,200円	31,400円	10,200円
	平等割額	18,600円	17,600円	-800円	18,800円	17,600円	-1,200円	20,000円	17,600円	-2,400円	22,000円	17,600円	-4,400円

一般行政報告書

(平成20年第2回南会津町議会定例会)

1. 総合支援センター運営状況について

本年4月に開所しました南会津町総合支援センターについては、5月15日現在、101の個人と団体が登録しており、地域の課題やその解決策について話し合い、登録した団体が横糸でつながるよう取り組みを進めています。また、協働スペースについては、登録団体の協議の場や支援センター職員との協議の場として有効に利用されております。配置しましたパソコンも、登録団体の各種会議資料や補助金等の申請資料の作成に利用されており、団体事務の支援に役立っております。

地域課題の解決に向けた主な取り組みとしましては、町の特産品である南郷トマトの規模拡大を希望する農家の労働力支援策について具体的な取り組みを進めているほか、総合支援センター館岩内に「西部子育てプラザ」を開設し、館岩、伊南、南郷地域でのつどいの広場の開催や子育て相談、育児サポーター養成等を実施しております。その他、館岩会館のパソコンルームを開放し、なりわい創造空間として、パソコンの操作講習だけでなくインターネットを活用した販路拡大の研究に取り組むなど、構成団体の動きが活発化しております。

また、総合支援センターを活用した住民サービスとして、住民票等の証明書を役場の閉庁日である土曜日や日曜日などに、総合支援センターで受け取る電話予約サービスを開始し、住民サービスの拡充にも努めています。南会津町総合支援センターは、今後とも様々な形で地域のやる気を掘り起こすための活動や新たな住民サービスを実施してまいります。

2. 南会津やまなみ泊覧会 基本計画説明会及び実行委員会の設立について

潜在資源の掘り起こしや既存資源を活用した住民主導による地域づくり型泊覧会としての「南会津やまなみ泊覧会（愛称：やまはく）基本計画」が3月にまとまりました。本事業の趣旨や概要を町民の皆様にご理解いただき、当事業への積極的な参画が得られるよう「基本計画説明会」を5月10日から14日まで町内4地域で開催し、500名を超える出席をいただきました。

また、去る5月27日には、この基本計画をもとに更に詳細な実施計画の策定や来年度の事業実施を円滑に推進することを目的として「南会津やまなみ泊覧会実行委員会」を設立いたしました。同実行委員会は、各地域ごとに設置されている「地域部会」の正副委員長や「株式会社南会津観光公社」、さらには「総合支援センター」によって構成されております。今年度は、実施計画の策定、事業実施体制の整備、受入態勢の整備などを進め、併せて「やまはく」の周知を図り、話題性を高めるため、イベントの開催やキャンペーン、PR活動に積極的に取り組んでまいります。

6. 地域公共交通対策について

平成19年度においては、交通の空白地帯解消のため、田島地域巡回乗合タクシー及び南郷地域巡回バスを新たに導入し、委託路線または支援等をしている路線併せて9路線を運行してまいりました。しかし、南郷地域巡回バス、長野乗合タクシー及び田島地域巡回乗合タクシーの一部については、利用が非常に少ないため、本年4月からの運行を中止しております。

このような状況の中、昨年10月1日に、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が施行され、地域において住民、事業者、行政等が連携して創意、工夫ある自主的な取組みについて国が支援することとなりました。これに基づき、2月26日に南会津町地域公共交通会議を設立し、4月15日には平成20年度地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画が認定され、同月22日に地域公共交通活性化・再生総合事業費補助金の交付決定を受けたところです。今後は、総合連携計画の策定に関する調査、協議を踏まえながら、連携計画の策定を行ってまいります。

7. 野岩鉄道及び会津鉄道の平成19年度の決算概要について

野岩鉄道は、去る5月14日に開催されました第99回取締役会において、平成19年度の事業報告が行われました。その内容は、輸送人員が535,172人と対前年度比1.6%の減となったものの、運輸収入では3億372万円となり、ほぼ前年と同額が確保されました。また、決算収支状況については、3億5,429万円の収入に対し、支出は、5億1,848万円となり、福島・栃木両県及び関係市町村から1億4,844万円の経営支援補助金を加え、当期純損失は1,380万円となりました。これにより、当期末処理損失額は7億4,759万円となりました。

次に会津鉄道であります。平成20年5月26日開催の第91回取締役会におきまして、平成19年度の営業報告が行われました。その内容は、輸送人員が72万366人と対前年度比1.9%の増、運輸収入で4億6,225万円と対前年度比2.6%の増となりました。これは、「極上の会津プロジェクトキャンペーン」や、東武鉄道の「こころのふる里・東武の会津キャンペーン」事業を共同展開し、誘客・増収に努めるとともに首都圏等の旅行エージェントに対して提案型営業セールスを展開し、団体・貸切利用客の増加に努めた結果によるものです。

また、決算収支状況については、5億2,528万円の収入に対し、支出は7億2,827万円となり、福島県及び会津17市町村からの1億6,275万円の経営支援補助金などを加味しても当期損益で4,001万円の損失金計上となりました。このことにより、当期末処理損失額は11億1,127万円になっております。

3. 子ども農山漁村交流プロジェクト事業について

総務省、文部科学省、農林水産省の三省連携による「子ども農山漁村交流プロジェクト」事業がスタートし、今後5年間で、小学5年生が教育の一環として農家民泊を活用した1週間程度の長期宿泊体験事業を実施するための体制整備が行われることとなりました。

このため、本年度を初年度としてモデル地域を指定し、受入体制の仕組みを整備する協議会に対して総合的な支援を行うこととされたことから、南会津町といたしましても去る3月に株式会社南会津観光公社を事務局として第三セクター、農業関係団体、宿泊関係者等で構成する「南会津農村生活体験推進協議会」を設立し、モデル地域指定の申請を行いました。

去る4月25日に全国50箇所が受入モデル地域と選定され、県内からは南会津町のほか喜多方市が選定されたところです。今後、モデル地域として体験プログラムの整備や安全管理に関するマニュアルの整備等を行い、安心して南会津町を選定していただける体制づくりを行います。

なお、本年、川俣町の6小学校が農山漁村におけるふるさと生活体験推進校の指定を受けましたが、そのうち「川俣町立福田小学校」が南会津町を選定され、6月18日から2泊3日の日程で引率の先生を含め31名が滞在することとなりました。今後、南会津農村生活体験推進協議会を中心に先進地として多くの小学生にお越しいただけるよう取り組んでまいります。

4. 第20回生涯学習フェスティバル記念事業映画「春色のスープ」制作について

第20回生涯学習フェスティバル記念事業映画「春色のスープ」の撮影が、4月30日から5月20日までの21日間にわたり、南会津町を中心に県内各地で行われました。この映画制作については、県民キャストとして約40名の町民が出演すると共にエキストラや制作スタッフを陰で支えるボランティアスタッフ等多くの町民が関わり、ひとつの目標に向かい取り組んだ結果、人材の発掘や各地域で活躍している方々のネットワークの構築など素晴らしい成果を得ることができました。今後、この取組みを活かし、人材の育成などこれからのまちづくりにつなげる活動を進めてまいります。

5. 地域活性化発展支援事業について

本事業は、地域資源や特性を活かした住民の自発的かつ先進的事業で、さらに、関係団体との交流等発展性・持続性の高い事業に対し補助金を交付するものです。平成19年度は、22件を採択し、補助金総額863万4千円を交付いたしました。産業化や収入源の確保につながるとされる事業が多くなってきており、今後、その効果が期待されます。本年度は、オーガニックモデル事業を含め、昨年申請の少なかった農政関係への事業活用など、町の重点施策として推進してまいります。

8. 統合保育所建設事業について

施設の老朽化が著しい荒海保育所と檜沢保育所、さらには保育環境面で問題を抱えるひかり保育所の3保育所の統合へ向けて、平成19年度から3ヵ年計画で、子どもたちが安全で個性力を高める保育生活が送れるよう又、保護者の子育て環境の充実を目指し統合保育所の建設を進めております。

平成19年度におきましては、保護者、地域住民への説明会を延べ13回開催して、事業についての理解をお願いしてきました。また、用地については、良好な保育環境を検証した結果として、びわのかげ運動公園の隣に決定したところであります。なお本年度は、プロポーザル方式により設計業者を特定するため、プロポーザル競技審査委員会を立ち上げ、5月16日に7名の審査委員を委嘱して第1回の委員会を開催しました。

今後は、実施設計、用地造成工事を行い、平成21年度本体工事着工へ向けて、びわのかげ運動公園の周辺施設の利活用を図りながら特別保育事業を充実させるなど多様な保育ニーズに対応できる保育施設整備を目指してまいります。

9. 平成20年度自然公園ふれあい全国大会の開催について

尾瀬国立公園誕生一周年とエコツーリズム推進法施行を記念し、平成20年度自然公園ふれあい全国大会が尾瀬国立公園を会場に、8月30日から31日までの2日間の日程で開催されることが決定しました。本大会は、環境省と関係4県を中心とした実行委員会が主催し、福島県知事が会長を務められるとともに、記念式典等は檜枝岐村を会場とすることで準備が進められております。大会は、尾瀬の魅力を全国に発信するとともに、人と自然の豊かなふれあいを通じて自然に対する理解を深め、自然を守り、次の世代に確実に引き継ぐ重要性を再認識することを目的とし、全国から参加者を募る予定となっております。

内容としましては、自然公園関係功労者への表彰等を行う記念式典やシンポジウムを開催するほか、尾瀬国立公園内でのエコツアーを実施することとしており、コースには帝釈山～田代山コースも含まれております。開催日程では、例年開催されている尾瀬サミットも同時に予定されており、本町も公園所在5市町村の一つとして実行委員会に加わるとともに、開催の成功に向けた協力体制を執ってまいります。